

(前頁より設問の続き 設問1 次の設問で内容の正しいものには○を、間違っているものには×をつけない。)

- ×回答欄
- 問37 ^{もつそう}盛槽とはご飯を盛るための道具である。
- 問38 右のような番号を付けるのは浄土宗である。 問38
- 問39 漆とおはぐる(鉄奨)を塗りながら、バーナーや炭火で焼き付けることを「漆焼き付け」と呼ぶ。
- 問40 シナモン・カシアは丁字のことである。
- 問41 浄土真宗の木製の朱塗りの蠟燭は木蠟と呼ばれる。 問41
- 問42 神道における男性の霊号は「刀自」^{とじ}である。
- 問43 仏壇公正競争規約では仏壇本体に製造業者等または販売業者の住所・氏名/名称・電話番号を表示することを義務づけている。

○院	○院
○善導	○善導
○名	○名
○位号	○位号
(信女)	(居士)



設問2 次の設問の語句で正しいものには○を、間違っているものには×を下の回答欄に書いてください。

例題 真言宗の宗祖は《道元》である。 例題

法然は平安時代末期に今の岡山県で生まれ、十三歳の時に《問1 高野山》にのぼり、後に法然房源空と名を改める。
 浄土宗の仏壇では向かって右側に《問2 善導》が安置されるが、《問2 善導》が著した『観無量寿経疏』^{かんむりやうじゆきやうしよ}の中にある「この一身を尽くすまで専念専修すれば、捨命以後さだめて彼の国に生ず」という一文に法然は納得し、専修念仏の道を進むことになる。
 法然は自身の著作『選択本願念仏集』の中で、末法の世の中においては極楽浄土に往生することを願う《問3 浄土門》こそが救いの道だと説き、ひたすら《問4 釈迦如来》の名前を称える称名念仏を勧めた。法然にとっての「本願」とは『無量寿経』に登場する《問5 法蔵菩薩》が立てた四十八願の誓願のことであり、第十八番の誓願に「十念すれば仏の国に生まれることができる」とある。浄土宗の本山である《問6 本願寺》は比叡山を降りた法然が京都東山吉水に営んだ草庵を起源としているが、現在の伽藍は江戸時代に建てられたものである。現在の浄土宗の流れは、弁長に始まる鎮西派の法流だが、同じく法然の弟子である証空(證空)の法流を西山派と呼ぶが、西山は《問7 せいざん》と読み、西山浄土宗、浄土宗西山禅林寺派などがある。

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
○×回答欄	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

採点欄

--	--